

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	哲学	
科目基礎情報							
科目番号	0113			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	環境都市工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	教科書は使用しない/補助教材としてプリントを配布する						
担当教員	鈴木 寛						
到達目標							
(科目コード：50681、英語名：Philosophy) (授業計画の週は回と読替えること) この科目は長岡高専の教育目標の(A)と主体的に関わる。この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を、到達目標、評価の重み、学習・教育到達目標との関連の順で次ぎに示す。①哲学の諸概念について説明できる。50%(a1)、②哲学の諸概念を用いた文章を書くことができる。40%(a1)、③哲学的な文章の内容理解に関する質問に答えられる。10% (a1)。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	哲学の諸概念について詳細に説明できる。		哲学の諸概念について説明できる。		哲学の諸概念について概ね説明できる。		左記に達していない。
評価項目2	哲学の諸概念を用いた文章を詳細に書くことができる。		哲学の諸概念を用いた文章を書くことができる。		哲学の諸概念を用いた文章を概ね書くことができる。		左記に達していない。
評価項目3	哲学的な文章の内容理解に関する質問に詳細に答えられる。		哲学的な文章の内容理解に関する質問に答えられる。		哲学的な文章の内容理解に関する質問に概ね答えられる。		左記に達していない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	哲学の基礎的事項や基本文献を取り上げる。哲学的教養を増やし、「哲学すること」の意義を理解する。 ○関連する科目：現代社会（1年）、世界史（1年）、現代倫理（2年）、日本史（2年）						
授業の進め方・方法	授業時間を前半と後半に分け、それぞれ別の内容を行う。基本的に毎回、確認小テストを行う。						
注意点	基本的に毎回、確認小テストを行う。「教養を増やしたい」と真面目に考える人の履修を望む。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	導入（哲学とは何かー古代哲学よりー）			「哲学とは何かー古代哲学よりー」について理解する。	
		2週	大陸合理論／哲学の言葉に触れる（1）			「大陸合理論／哲学の言葉に触れる（1）」について理解する。	
		3週	イギリス経験論／哲学の言葉に触れる（2）			「イギリス経験論／哲学の言葉に触れる（2）」について理解する。	
		4週	カント（1）／哲学の言葉に触れる（3）			「カント（1）／哲学の言葉に触れる（3）」について理解する。	
		5週	カント（2）／哲学の言葉に触れる（4）			「カント（2）／哲学の言葉に触れる（4）」について理解する。	
		6週	ヘーゲル／哲学の言葉に触れる（5）			「ヘーゲル／哲学の言葉に触れる（5）」について理解する。	
		7週	マルクス／哲学の言葉に触れる（6）			「マルクス／哲学の言葉に触れる（6）」について理解する。	
		8週	日本の哲学／哲学の言葉に触れる（7）			「日本の哲学／哲学の言葉に触れる（7）」について理解する。	
	2ndQ	9週	ニーチェ、フッサール／哲学の言葉に触れる（8）			「ニーチェ、フッサール／哲学の言葉に触れる（8）」について理解する。	
		10週	ハイデgger／哲学の言葉に触れる（9）			「ハイデgger／哲学の言葉に触れる（9）」について理解する。	
		11週	サルトル、フロイト／哲学の言葉に触れる（10）			「サルトル、フロイト／哲学の言葉に触れる（10）」について理解する。	
		12週	フーコー／哲学の言葉に触れる（11）			「フーコー／哲学の言葉に触れる（11）」について理解する。	
		13週	ラッセル／哲学の言葉に触れる（12）			「ラッセル／哲学の言葉に触れる（12）」について理解する。	
		14週	ムーア／哲学の言葉に触れる（13）			「ムーア／哲学の言葉に触れる（13）」について理解する。	
		15週	ウィトゲンシュタイン／哲学の言葉に触れる（14）			「ウィトゲンシュタイン／哲学の言葉に触れる（14）」について理解する。	
		16週	期末試験 17週：試験解説・発展学習			試験時間80分	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
-------	---------	----	-------	---	---	--

評価割合							
	定期試験	小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0